

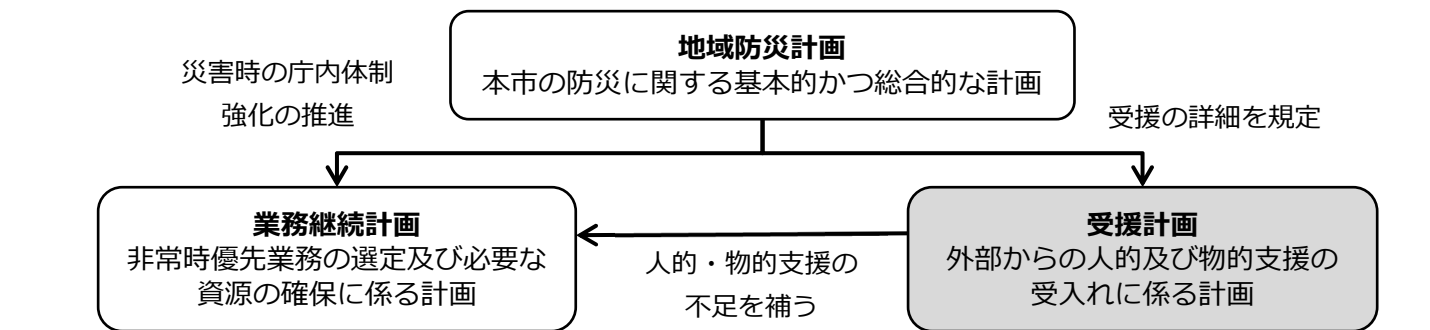
# 泉大津市受援計画概要版

## 第1章 総論

◎ 計画の目的

本計画では外部からの支援の受入れ『体制』や応援要請・受入れに関する『手続き』、支援を受ける『業務』を明確にすることで、災害時に円滑に支援を受入れ、最大限活用し、災害からの早期復旧を図ることを目的とする。

## ◎ 計画の位置づけ

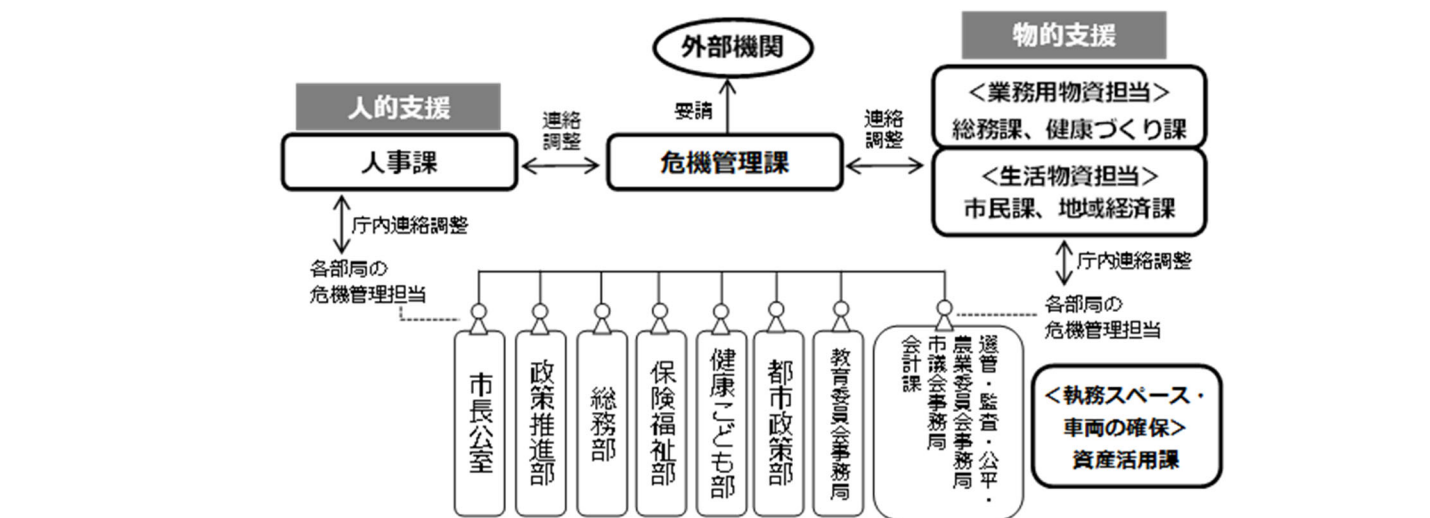


## ◎ 対象とする支援の範囲

人的支援		職員や専門家等による支援。 人的支援が必要な業務を『受援業務』とする。
物的支援	生活物資	食料や飲料水、日用品等の物資。
	業務用物資	災害対応業務で利用する車両や資機材、医薬品等の物資。

## 第2章 受援体制

## ◎ 受援体制の構築



## ◎ 受援の役割分担

課等	役 割
危機管理課	・ 外部機関への要請・受入れ調整 等
人事課	・ 人的支援に関する庁内調整（ニーズ把握、とりまとめ）等
総務課	・ 業務用物資（資機材※）に関する庁内調整（ニーズ把握、とりまとめ）等 ※災害対策従事者用食料を含む

(⇒その他の役割分担の詳細は『**本編/第2章/第2節**』を確認)

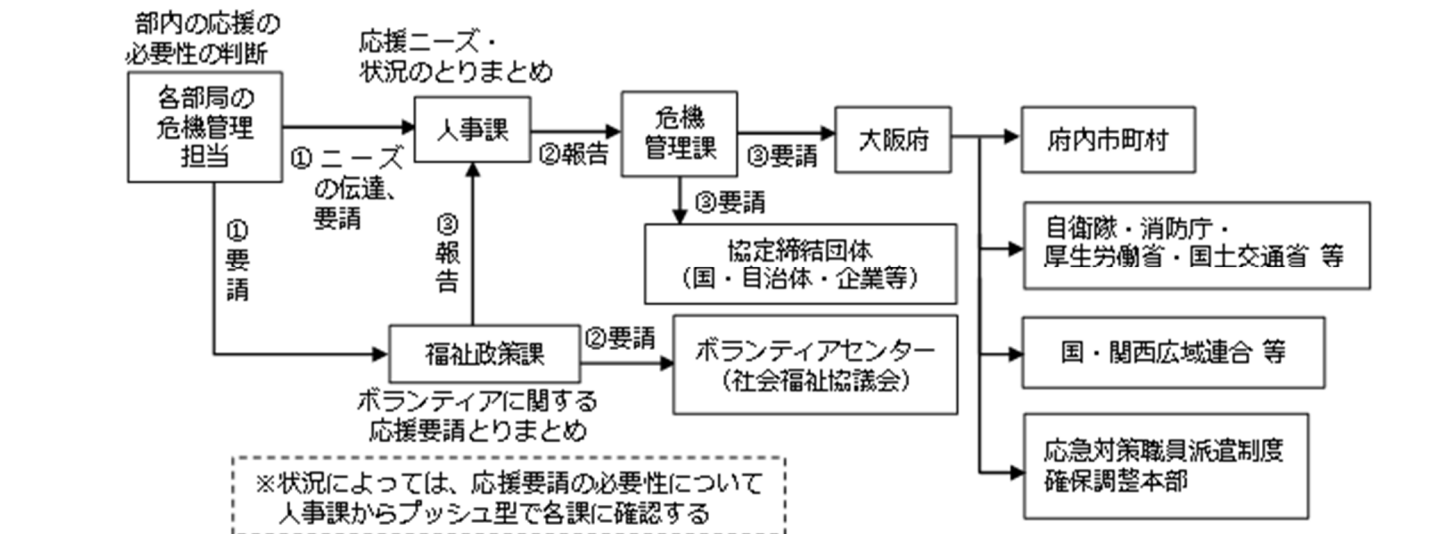
## 第3章 人的支援の受入れ

### ◎ 応援要請等の種類

外部からの応援受入れには、本市から外部へ応援要請する場合と外部から応援の申出がある場合の 2 種類がある。また、本市から外部へ応援要請をする場合は、外部との連絡窓口の違いにより手続きが異なる。

**<各担当課において、個別に協定締結を行っていない場合>**

＜各担当課において、個別に協定締結を行っていない場合＞



(⇒その他の場合の手順は『本編/第3章/第1節/3』を確認)

◎受援業務

人的支援の受入れを必要とする業務（受援業務）は、各課の課長級職員でワークショップを行い、泉大津市業務継続計画（BCP）に定める非常時優先業務の中から受援業務を選定し、業務の実施に必要な事項を具体的にまとめた「受援業務シート」を作成した。

受援業務の選定は、①多数の人員が必要となる業務、②本市職員以外で対応可能な業務を選定した。

＜受援開始時期別業務数＞

受援開始目安	業務種別		合計
	応急業務	優先すべき 通常業務	
3 時間以内	10	0	10
24 時間以内	2	0	2
72 時間以内	12	9	21
2 週間以内	8	4	12
1 か月以内	2	0	2
合 計	34	13	<b>47</b>

(⇒受援業務の詳細は  
『資料編/1 受援業務シート』を確認)

### ＜受援業務シートの概要＞

受援業務シート	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素早い受援業務の特定、要請</li> <li>・ 応援者との業務内容調整</li> </ul>
内容	<p>受援業務の全体概要</p> <p>（業務内容、応援者条件、必要人数、業務担当者、必要な資機材、執務スペース、応援要請先）</p>
使用場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受援必要性の判断、応援要請のとき</li> <li>・ 応援者受入れの際の業務内容調整のとき</li> </ul>
使用者	<p>（応援要請）各担当課・危機管理課・福祉政策課</p> <p>（業務調整）各担当課・応援者</p>
作成対象	<p>全ての受援業務に1枚ずつ作成</p>

第4章 物的支援の受入れ

◎ 物資調達の全体像

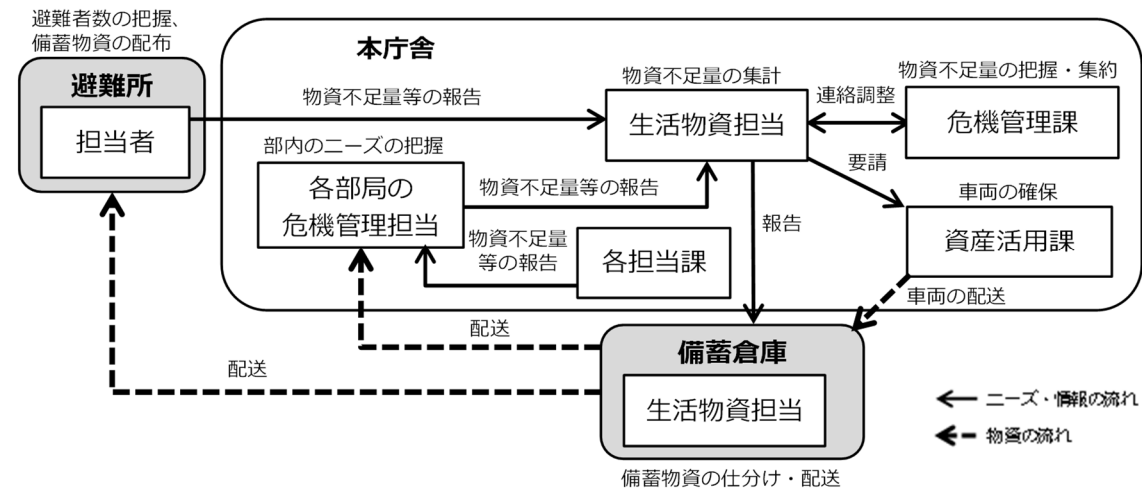
物的支援も人的支援と同様に大阪府や協定締結機関等へ要請し、受入れを行う。なお、物資調達は「生活物資」と「業務用物資」に分けて整理をする。

種類	定義		庁内調整・調達担当
生活物資	食料・飲料水		市民課
	日用品		地域経済課
業務用物資	災害対応業務で利用 する車両や資機材、 医薬品等の物資	車両	資産活用課
		資機材・災害対策従事者用食料	総務課
		医薬品	健康づくり課

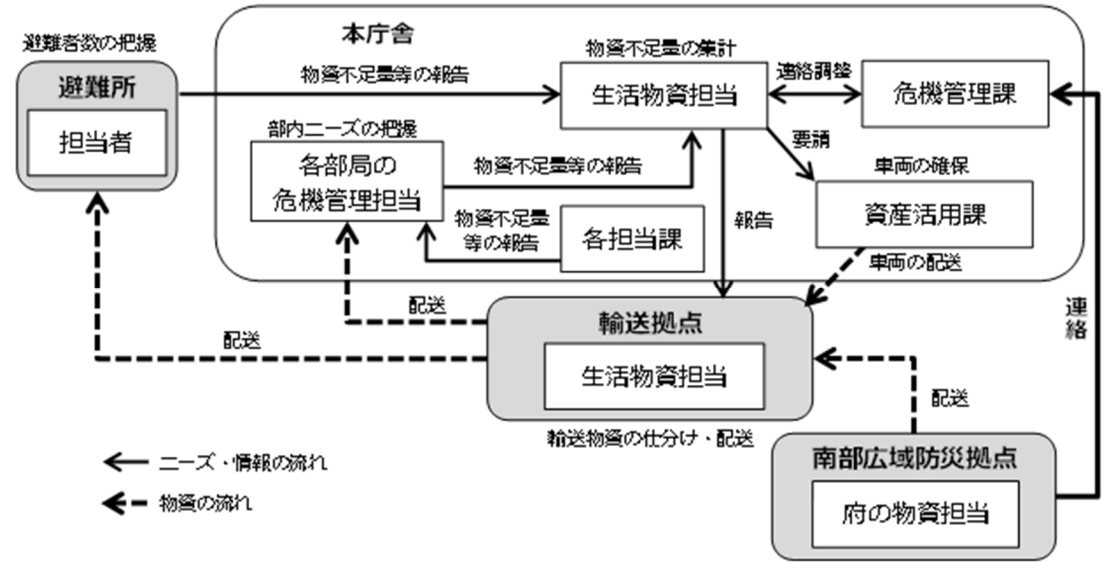
◎ 生活物資の調達

物資調達は発災後の時期によって、**A. 備蓄物資配布**、**B. プッシュ型支援**、**C. プル型支援**で調達方法が異なり、その他、事業者、個人等からの申出による **D. 義援物資の受入れ**も想定される。

<A. 備蓄物資配布>



<B. プッシュ型支援>



第5章 受援力向上のための取組み

本計画は、受援力の向上を図るため、訓練・研修や計画の検証・実行等を通じて、課題の検討を行い、「計画（PLAN）」「実行（DO）」「評価（CHECK）」「改善（ACT）」の4段階のサイクル（PDCA サイクル）で継続的な改善を行う。

◎ 訓練・研修等の実施

<受援に関する訓練・研修等の例>

No	訓練・研修等	概要
1	受援図上訓練	人的・物的支援の応援要請、受入れの手続きを実際の体制、様式を用いてシミュレーションする。
2	輸送拠点開設・運営訓練	実際の施設、資機材を利用して、レイアウト配置、車両や物資、輸送者の動線等の確認を行う。
3	災害対応経験の検証	実際に発生した災害の対応や、被災地支援での経験をもとに受援業務内容を見直す。